平成 31 年度　情報科

学校番号	302

教　科	情報科	科目	社会と情報	単位数	２単位	学年	１年
使用教科書	改訂版　高等学校　社会と情報（数研出版）						

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは今、「情報社会」とよばれる世界に生きています。それは今から２０年ほど前には想像さえ出来なかった世界です。あまりにも多くの、そしていろいろな種類の情報に私たちは取り囲まれているので、どの情報が自分にとって必要なのか、どれが正しい情報なのかを見極めることがとても大切になっています。あふれる情報をうまく整理できれば、その中から誰も気づかなかった意味のあることを見つけ出せるかもしれません。一方、私たちが何気なくつぶやいた一言が、一瞬で日本中に、世界中に広まると言うことが決して現実離れのした話ではなくなっています。自分が発した言葉が、自分の想像を超えたとらえられ方をするという不幸な出来事が誰にでも起こる可能性があるのです。だからといって私たちは何も発信せずに生きていくことは出来ませんね。

また、「情報社会」は様々な情報機器や情報サービスで構成されています。機器の基本の仕組みを理解しうまく扱うこと、サービスの仕組みや意味を理解して、使いこなすことは私たちがうまく生きて行くために不可欠な力です。

「社会と情報」というこれから学んでもらう科目は、現代世界を生き抜いて行くための姿勢と技術を身につける科目です。

この授業を受ける上で皆さんには次のような姿勢を持ってもらいたいと思います。

＜リサーチクエスチョンを立てる力（分からないことを発見しようとする姿勢）＞
・与えられたテーマに沿って、自分から疑問や好奇心を持って、問題を発見してゆく姿勢。
＜分からないことを調べようとする姿勢＞
・教科書や参考書、インターネットなどを通じて情報を集め、整理・分析し、課題を解決する方法を考える姿勢
＜自分の言葉で語ろうとする姿勢＞
・複数の情報源を参照することで、手に入れた情報が正しいかどうかを分析し、判断しようとする姿勢

２．到達目標

- 情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する。
- 情報に関する科学的な見方や考え方を培う。
- 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。
- 社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身に付ける。

３．学習評価と評価方法

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

４．学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	単元名	学習内容	評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期	危険予測の視点を育てる情報モラル教育	１．入学記念写真、恋人とのツーショット写真をＴｗｉｔｔｅｒにアップロード	○	○		○	(関)　情報を適切に活用し表現する視点から情報の特徴や情報社会の課題について、情報モラルや望ましい情報社会の構築の視点から情報化が社会に及ぼす影響について理解しようと積極的に授業に取り組んでいる。 (思)　情報化の進展が社会に及ぼす影響や個人の責任などの面から情報社会の特性や在り方を考えている。 (知) 情報は複製により伝わるとともに、誰かに情報を提供したからといって「もの」のように元の所有者の手元から無くなるわけではないという性質であることを理解している。 (技) 表計算ソフトを活用し、学習した内容をまとめている。 (知) ネットワーク上に提供した情報は、どこで誰がその情報を複製しているか分からないため、情報の提供者がその情報を消去しただけでは完全に消去することができたと断定することはできないことを理解している。 (知) 情報の信頼性や信憑性については、他の情報と組み合わせることによってはじめて判断することができることを理解している。	ポートフォリオ ワークシート
		２．友達とＳＮＳ上で恋愛に関する事でケンカしてしまった。		○		○		
		３．クラスの集合写真をＳＮＳ上にアップロードした。		○		○		
		４．ＹＧＫ４８の桃谷松子がバイト先に来たので写真撮ってＴｗｉｔｔｅｒで様子を実況してみた。		○		○		
		５．新しい服を買って嬉しいので家で記念撮影してアップロードしてみた。		○		○		
		６．ゲームで学ぶ著作権！著作権のどれを侵害しているか考えよう		○		○		
		７．スマホ依存がチェックしよう！	○			○		
		８．架空ネットニュースの記事を批判的に読んでみよう！		○		○		
	情報レポート作成	１．1B オリエンテーション			○	○	(関)　情報を適切に活用し表現する視点から情報の特徴や情報社会の課題について、情報モラルや望ましい情報社会の構築の視点から情報化が社会に及ぼす影響について理解しようと積極的に授業に取り組んでいる。 (思)　情報化の進展が社会に及ぼす影響や個人の責任などの面から情報社会の特性や在り方を考えている。 (技)　伝えたい情報を分かりやすく表現している。 (知) 情報セキュリティを確保するためには、技術的対策だけではなく、組織的対応を適切に組み合わせることや、利用者に対する啓発活動などを通じた意識の向上が必要であることを理解している	ポートフォリオ ワークシート
		２.【課題設定】 1A で学習した内容で深めたい内容を選び、関連する疑問を作る	○					
		３～７.【探究活動】 教材執筆活動 （序論→本論→結論）	○		○			
		８、９．相互評価 10．活動ふりかえり		○		○		

学期	単元名	学習内容	評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期	探究成果発表	１．1C オリエンテーション パワーポイント練習			○	○	(関) 情報化の「影」の影響を少なくし、「光」の恩恵をより多く享受するためには、情報技術の適切な活用、法律の整備とその遵守、制度上の様々な工夫が必要であることを主体的に考えている。 (思) 情報システムの導入が社会生活にどのような影響を与えてきたかなどを利用者の面から考えている。 (思) 情報システムが社会生活に果たしている役割と及ぼしている影響について考えている。 (技)　探究の成果を整理し、分かりやすく発表できている。 (知)　情報化が社会に及ぼす影響と課題について理解している。	ポートフォリオ ワークシート 発表の内容 発表態度
		２～４． 追加調査活動 スライド制作 1B 口頭試問	○		○			
		５～８、相互評価				○		
		９．活動ふりかえり	○	○				
後期	情報通信機器の仕組みを調べよう～聴衆を巻き込むプレゼンを目指す～	１．2A オリエンテーション 班名、役割決定	○			○	(関) 望ましい情報社会を構築する上での人間の役割について生徒が主体的に考えている。 (思)　情報システムが社会生活で果たしている役割と及ぼす影響に着目して、望ましい情報社会を構築していくための方法について考えているか。 (思) 情報セキュリティを高めるために技術的対策だけでは不十分な理由について、情報社会で実際に起きているサイバー犯罪などの具体的な問題や脅威、情報機器の故障や誤動作に伴う問題、情報通信ネットワーク、電子媒体、紙媒体、会話などを通じた情報漏洩などを取り上げ、それらを防ぐための方法を考えている。 (技)　探究の成果を整理し、分かりやすく発表できている。 (知) 情報通信ネットワークの仕組みや特性を理解しているか。	ポートフォリオ ワークシート 発表の内容 発表態度
		２．【課題設定】 疑問を作る	○					
		３～７．【探究活動】 調査活動、スライド制作	○		○	○		
		８～１０、相互評価				○		
		１１．活動ふりかえり	○	○				

学期	単元名	学習内容	評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
後期	情報通信機器の仕組みを調べよう～聴衆を巻き込むプレゼンを目指す～	1．表計算の基礎、四則演算	○		○	○	(関) 積極的に複数の情報の相互関係や全体構造などを図式化して表現しようとしている。 (思) データの分析と結果を考察している。 (技) 数値情報を表計算ソフトウェアなどを利用して整理するとともにグラフ化して表現できる。 (知) 様々な情報を分かりやすく表現するための知識と技術を習得している。 (知) 数値データの分析に用いる数式や分布の意味について理解している。	ポートフォリオ ワークシート レポート 授業態度
		2．平均、合計を求めよう						
		3.適切なグラフを選ぼう			○	○		
		4.散布図 小レポート						
		5． 情報モラルアンケート	○	○	○			
		6．アンケート集計、考察						
	表計算ソフトのマクロ機能を用いたプログラミング学習	＜実験１＞ 1、マクロ入門		○		○	(関) プログラミングによる情報処理の自動化について興味を持っている。 (思) プログラミングの実用性について思考している。 (技) プログラムを組み、再生することができる。 (知) 効率の良いプログラムを組む上で条件分岐、繰り返し処理が有効であることを理解している。	ポートフォリオ 授業態度
		＜実験２＞ 2、マクロ基礎		○		○		
		＜チャレンジ＞ 3、4、マクロ本課題			○			
		5、ふりかえり		○		○		